

館報

下粟津

ホームページ <http://shimoawa.sakura.ne.jp> 下粟津 検索

第89号

下粟津町勢

(平成27年11月現在) (26年11月)

世帯数 569世帯 (566世帯)

町民数 2,018名 (2,011名)

男子 949名 (958名)

女子 1,069名 (1,053名)

下粟津町公民館 TEL44-3123

事務局受付時間

月曜日～金曜日 午前9:00～午後1:00

月末土曜日 午前9:00～午後4:00

(題字は町内会長)

11/7
土曜日

11/8
日曜日

公民館まつり



大杉ミュージカルシアター



書道ガールズ綺羅「夢」

ご来場ありがとうございました



屋内ご来場の皆様



作品展示

11月7日(土)、8日(日)、下粟津会館にて公民館祭りが開催されました。館内には町内の皆様からお寄せいただいた多数の作品が、両日にわたって展示され、日頃の修練の成果をご披露いただきました。

7日の午後からは、子供お楽しみ会が行われました。ここでは映写会とビンゴ大会が行われ、またアイスクリームの振る舞いがあり、子供達は大はしゃぎでした。午後6時30分からはお茶会、午後7時からは「桃山会」による詩吟発表、そして「琴きらら」による大正琴演奏が催され、日本の伝統文化が調和した素敵な時間を過ごしました。

8日はあいにくの雨天となりましたが、多くの皆様にご来場いただきました。(新聞報道によると、延べ800人ほど)

屋外では各種模擬店の他、みなみ診療所のご厚意による無料健康チェック、餅つき、ゲームコーナーが、屋内では飲食コーナーが設けられました。舞台発表開会前、同じ日に開催された校下駅伝のランナーがもう少しで首位か、というところで会館前を通り過ぎ、町民からは大きな声援と拍手が上がりました。そして11時過ぎに舞台発表。「加賀小町太鼓」によるパフォーマンスを皮切りに、かわいらしい園児達のお遊戯を行いました。その後、駅伝で我が下粟津チームが優勝したというニュース速報が入り、大きな拍手が沸き起こりました。そして午後から「麗姿クラブ」による演舞、「踊りの会」による舞踊へと続き、ゲストコーナーへ。

昨年に引き続き、月華書道会主催の「書道ガールズ綺羅」による、書道パフォーマンスが披露されました。音楽に合わせて、大きな用紙に全身を大きく動かして、踊るように文字を書いていくパフォーマンスに、会場は大いに沸き立ちました。またその最中、会館を訪れた駅伝チームが優勝報告をして、またも大きな拍手が沸き起こりました。そしてもう1組のゲスト、「大杉ミュージカルシアター」の演劇が開催されました。狂言の名曲「鞆猿(うつぼざる)」をベースにした、日本語と英語の混じった華やかなオリジナル劇を披露し、観衆は魅了されました。

最後には恒例の抽選会が催され、名前を読み上げる度に参加者全員が一喜一憂し、大盛り上がりのフィナーレとなりました。

ご来場いただいた皆様、運営に御協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



● お楽しみ会 (子供会) ●



● お茶会 ●



● 詩吟 (桃山会) ●



● 大正琴 (琴きらら) ●



● 加賀小町太鼓 ●



● 矢田野こども園 ●



● 白嶺幼稚園 ●

公民館まつり

屋内催し



● 太極拳 (麗姿クラブ) ●



● 踊りの会 ●



● 校下駅伝優勝報告 ●

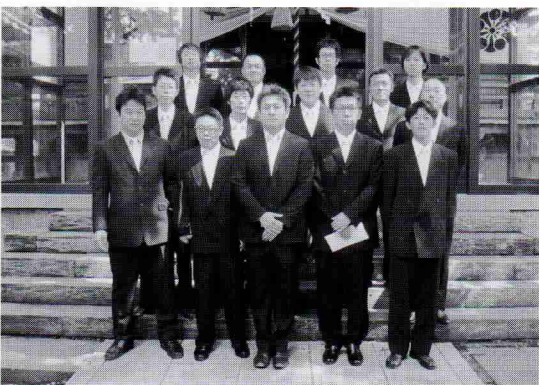


駅伝メンバー

- 1区 谷敷 英直
- 2区 西森 良介(区間賞)
- 3区 城宝 芳彦
- 4区 谷口 繁央
- 5区 庄司英太郎(区間賞)

公民館まつり2日目と同じ日、第46回矢田野校下駅伝継走大会が開催されました。
 我が下栗津チームは、見事2年ぶりの総合優勝を成し遂げたばかりでなく、2つの区間賞も獲得しました。
 公民館まつりのさなか、会場前を通り過ぎるランナーに、町民から熱い声援が送られました。
 その後選手達は、公民館まつりにて勝利の報告をし、大きな拍手を受けました。

第46回 矢田野校下 駅伝継走大会



- 東啓太郎
- 香西 健
- 新川 達也
- 加藤 行恭
- 埴田 大志
- 村井 久悟
- 井川 佳則
- 高瀬 達也
- 紺谷 雅利
- 山内 康士
- 松山 貴博
- 紺谷 昌範
- 清水 政弘
- 石村 秀男
- 須加 優



「奉納 一金 七拾萬圓也」
 ◆卯辰健友会の皆様(出生順)

平成二十七年 初老

今年を振り返って

町内会会長 松山 純一

町内の皆様にはこの一年間、町内運営各種行事に多大な協力を頂きましたことに先ず御礼を申し上げます。お陰さまで町内会行事は天候にも恵まれ順調に実施し、どうか師走の声を聞くころまで辿り着きました。
 薄らと雪化粧した中で執り行われた元旦祭をはじめとして、今年ほど湯下八幡神社詣をした年を知りません。2月9日の大鳥居落下はまさに青天の霹靂とも言つべき出来事でした。幸いにして、怪我人もなく事後処理を行いました。幸いにして、新鳥居建立に当たっては、皆様方に格段のご理解とご尽力を頂きました。新たな鳥居のもとで秋祭りを迎えられることは誠に目出度く、下栗津町民皆様の融和と連帯そして意地と誇りを見ることが出来ました。
 北陸新幹線の建設につきましては用地交渉が進められていますが、町内会としてはルートと交差する市道下栗津国道1号線(公園北側)・市道下栗津2号線(会館北側)の整備と併せて公園駐車場の確保について関係機関と協議をしております。また、年明け早々には中川改修工事を延長しますが、今年の要望事項についても年度内を目途に順調に補修改善されていきます。
 安全・安心な町づくりの一環として今年度は2回の防災訓練を実施しました。10月には石川県から起震車をお借りして震度7の地震を体験してもらいました。激しい揺れの中でどのように自分の命を守るか(自助)とともに家族や身近な人達が安全に暮らすための備え(共助)、そして町内住民が集い防災訓練に取り組み(近所)活動が、もしもの時の被害を予防軽減する方策だと思えます。明るく住みよい町づくり事業に対して、多くの皆さんに積極的に参加して頂きました。
 一年間という限られた期間の中ではありましたが、陰に日向にと頂いた御支援を感謝し、併せて皆様方の益々のご健勝をお祈り申し上げます。有難うございました。

防災訓練

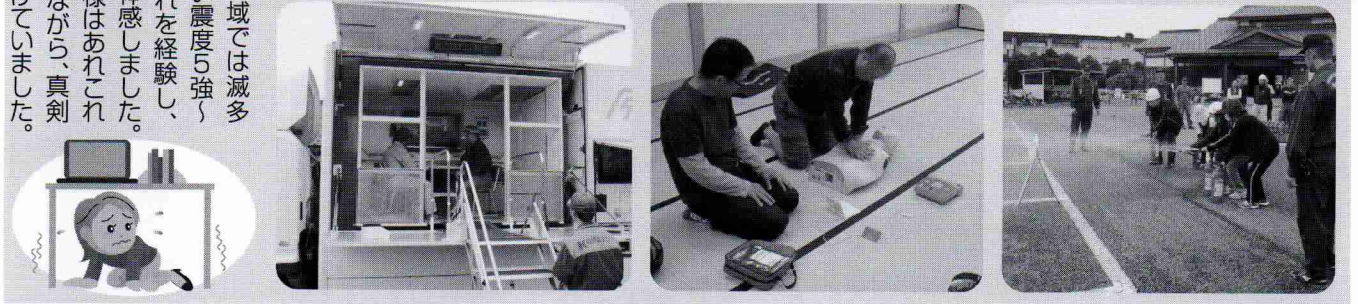
10月10日 (土) 下粟津会館にて、第2回防災訓練が開催されました。

今回は、県より地震体験車が貸し出されるという、滅多に無い体験が得られました。

訓練は、消火器の使い方、ダミー人形とAEDを使用した心肺蘇生法、そして地震体験の3つを行いました。

地震体験では、この地域では滅多に起こらない震度5強、震度7の揺れを経験し、その恐怖を体感しました。

町民の皆様はあれこれ質問を交えながら、真剣に訓練を受けていました。



一年を振り返って

神社運営委員会委員長 神谷 周毅

町内の皆様には、日頃より湯下八幡神社の維持管理活動に多大なご支援・ご協力を賜りまして、心より篤くお礼申し上げます。

今年度は、湯下八幡神社にとって大きな出来事がありました。二月九日午前七時ごろ、突然、大首響とともに表参道の大鳥居の中貫が崩落し、玉垣、参道、手すりなどを破損し、中貫自体は真一ツに折れました。人身事故でなかったことは、不幸中の幸いでした。

この大鳥居は、昭和十一年七月に、当町出身で京都市在住の西出與三三郎氏により寄進されたものであり、建立から八十年近く経過していました。

この緊急事態に対しまして、臨時総会を開催していただき、新たに大鳥居を建立することとし、その必要な財源を、町民の方々の寄進により賄うことが承認されました。その結果、町民の方々からの寄進額は八百二十二万四千円、初老の会などの団体からは百四十四万円の合わせて九百六十六万四千円とお願ひしていただきました。寄進額を上回る寄進を寄せていただくことができました。町民の皆様方の絶大なご支援・ご協力に対しまして、衷心より篤くお礼申し上げます。

大鳥居の建立は、五月二十七日に基礎工事が始まり、六月三十日に付帯工事を除いてその本体が完成しました。この大鳥居の大きさは、近隣の神社の大鳥居と比べても遜色のないものであり、以前と異なって御神燈が大鳥居の前に置かれて、より見栄えのする佇まいとなりました。

大鳥居の完成を祝して、七月十二日に大鳥居完成奉告祭及び除幕式を行いました。さらにその後、獅子舞保存会による「獅子舞の奉納」の「くぐり初め」でお祝いをいたしました。

また、当神社の祭事につきましては、春祭り、秋祭りをはじめとして、例年通り、無事執行することができました。さらに、拝殿の板戸十六枚の改修や御幌(本殿奥の幕の更新など)神殿の修理、輝寿会による境内の清掃や旗竿を立てる穴(四カ所)の掃除など境内の維持管理の業務を進めてまいりました。

当神社が町民の方々に支えられ、護られていることを強く実感させていただきました。今年一年誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

一年を振り返って

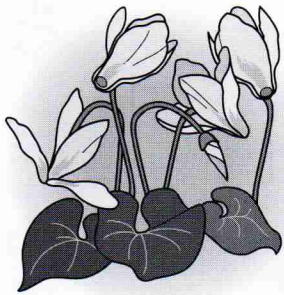
公民館長 塚 正宏

今年一年、公民館行事に町民皆様の多数のご参加、ご協力ありがとうございました。どの行事も盛況に無事終えられた事に感謝しております。また各組組長様におかれましては、各行事ごとに選手動員や各手配に御協力いただきまして、本当にありがとうございました。

一年を振り返ってみますと、校下公民館行事では二月に立志のついでが小松ドームで行われ、下粟津町は二十一名の中学二年生が対象者でした。また、我が下粟津チームは、三月の校下バレーボール大会で見事優勝、社会体育大会では男子優勝、そして十一月の駅伝大会優勝と、町民一丸となって頑張った成果が出て大変良かったと思えます。来年も頑張りますよ。

町内行事の町民大運動会、秋祭り、公民館まつりでは、女性部のみなさん、また壮年会、輝寿会、親和会、明るい町づくり委員会と各種団体のみなさんには大変お世話になりました。また一年間一緒に頑張ってくれた役員の皆様には心より感謝申し上げます。

最後に、町民の皆様には公民館活動へのより一層のご支援・ご協力をお願いし、ご挨拶といたします。ありがとうございました。



公民館主事、退任の挨拶

公民館主事 春木 信一

今年一年を振り返ってみれば、あっという間でした。去年の今頃は、主事としてやっていけるかどうか不安でした。

年が明け、初任事が女性部との打ち合わせでしたが、女性部長がなかなか決まらず苦勞しました。

3月に入り、校下バレーボール大会に優勝し、幸先の良いスタートを切れました。少し間が空き4月に入ると、町民大運動会の準備に入り、打ち合わせ、小学校と消防署への書類提出、運動会の種目の選別など、色々意見を出すなど、忙しい日々を過ごしました。そして迎えた本番当日でしたが、朝早くから雨が降っていて、出来るかどうか心配になりましたが、どうにか執り行うことが出来ました。

それから少し間が空き、7月の終わりには秋祭りの打ち合わせに入りました。8月には本格的に準備に入り、各組長への仮装輪踊り関係の依頼を始め、他にも関係各所に出演依頼書や招待状を出したりと、再び忙しい日々を送りました。そして迎えた当日、朝早くから一通りの準備を終え、夜の仮装輪踊りには多くの町民が参加してくれました。今年も盛大に事故も無く無事終えることが出来ました。

でも思つくと暇も無く社会体育大会の準備に入り、選手動員を各組長にお願いしたのですが、なかなか選手が決まらず苦勞しました。大会当日は欠員が出たものの何とかかなり、無事終えることが出来ました。

そして残るは公民館最大の行事、公民館まつりです。これも社会体育大会から2週間ほどしか時間が無く、大慌てで準備に入りました。今までの行事とは違い、発注するものも多く、多忙を極めました。そして当日、多くの作品の展覧、飲食コーナー、イベントなどで盛り上がり、大成功を収めました。

今年一年、町民の皆様にはご協力くださり、本当にありがとうございました。